

經濟論叢

第102巻 第5号

マルクス生誕150年記念号

生産力と生産関係との論理的な関係	出口勇蔵	1
経済学批判体系と世界市場恐慌	松井清	33
マルクスにおける「国家と経済」	島恭彦 池上惇	60
19世紀中葉における資本の 直接的生産過程	坂本和一	96
思い出すままに	福井孝治	125
マルクスの書簡について	編集委員会	128
トリールのマルクス生誕記念祭記事	編集委員会	131
京都大学経済学部所蔵マルクス・エンゲルス著作(1845—1894)目録	経済学部 調査資料室編	134
マルクス「資本論」100年・マルクス 生誕150年記念論文・記事目録		

昭和43年11月

京都大学経済学会

マルクス「資本論」100年・マルクス生誕150年

記念論文・記事目録

凡 例

1. 本目録の収録範囲は、1967年1月1日—1968年9月30日現在、本学部受入れの雑誌に限り、記念によせられた論文および関連記事とした。なお、主要雑誌で学部受入れでないものおよび日本文献のうち主要新聞、論文集を収録した。
2. 本目録は、日本文献と外国文献とにわけ、外国文献は国別に構成した。
3. 各項目は、雑誌名のアルファベット順に配列し、誌名、巻号、発行年月を掲げ、収録論文は特集記事名のもとに掲載順に著者、論題を掲げた。なお、巻号について、第3巻第3号は3(3)とし、発行年月は、1968年5月を1968, 5(日本), May 1968(外国)とした。
4. 外国の主要研究機関に記念論文などの問い合わせをし、教機関より回答をえた。なお、入手できなかった雑誌については、誌名に*印をつけ、本目録に収録した。

〔日 本 文 献〕

中 央 公 論

82(6) 1967, 5

マルクス経済学と近代経済学との対話(特別討論)

木村 健康: 対話の必要

玉野井芳郎: 対話の方向

筑井 甚吉: 経済法則は存在するか

鈴木 光男: テクノクラシーと社会科学の任務

富永 健一: 二つの経済学と「経済発展」の問題

有木宗一郎: マルクス経済学の魅力

竹内 啓: 経済学における人間の問題

力石 定一: 総括と展望—計画の時代—

公文 俊平: ソ連経済学はどう変わったか

エコノミスト

45(25) 1967, 6, 20

大内 兵衛: 日本におけるマルクスの顔「資本

論」発刊100年祭にちなんで

平和と社会主義の諸問題

(106) 1968, 7

マルクス生誕150周年にあたって

R. パーム・ダット: マルクス主義と国際主義

レフ・レオンチェフ: マルクス主義と社会主義的商品—貨幣諸関係

オットー・ラインホルト: マルクス主義恐慌理論の今日性—ドイツ連邦共和国の経済発展の指数にもとづいて—

法 律 時 報

39(13~14) 1967, 11~12

マルクス主義と法律学—資本論100年を記念して—

(報 告) 藤田 勇

(シンポジウム) 平野義太郎; 沼田稲次郎; 長谷川正安; 下山英二; 江藤价泰; 岡田与好

- I 「資本論」100年をどう受けとめるか
- II 日本の法律学と「資本論」
- III 資本主義法の全体的構造を捉える方法
- IV 段階論の問題
- V 国家独占資本主義と法
- VI 認識と実践

法政大学 大原社会問題研究所・資料室報

(132) 1967, 8

宇佐美誠次郎：「資本論」とドイツ労働運動～
ドゥルーフ教授の論文の紹介～

関西大学・経済論集

17(5) 1967, 12

「資本論」100年特集

- 杉原 四郎：労働節約法則と「資本論」
- 三谷 友吉：ロビンソンとマルクス
- 東井 正美：いわゆる「不明瞭な箇所」～マルクスの市場価値論について～
- 重田 晃一：「ドイツ・イデオロギー」の一面面～経済学批判の前提としての「哲学的意識」の批判～
- 保坂 直達：マルクス経済理論における4つの問題点～マルクスから学ぶもの～

経 済

(37) 1967, 6

- 「資本論」発刊100年を記念して
- 岡本 博之：「資本論」と現代
- 横山 正彦：マルクス主義における「資本論」の地位
- 林 直道：初期マルクスにおける「資本論」
- 宇佐美誠二郎：「資本論」がうまれるまで～マルクスの学問と友情と生活～
- 「資本論」の主要内容
- 向笠 良一：剰余価値論
- 堀江 正規：貧困化論
- 石原 忠男：恐慌論
- 井野 隆一：地代論
- 田沼 肇：諸階級論

- 学習の経験～労働者の研究会から：林 昭；桜井網江；中労学院・研究会；吉野城
- 土屋 保男：「資本論」の邦訳をめぐって
- 経済学史上における「資本論」
- 相沢 秀一：「資本論」成立まで～古典経済学と小ブルジョア経済学～
- 種瀬 茂：「資本論」への批判と反批判～主観価値説からケインズ以前まで～
- 置塩 信雄：「資本論」と現代ブルジョア経済学～ケインズと新古典派～
- 守屋 典郎：戦前の日本資本主義研究と「資本論」
- 一ノ瀬秀文：「資本論」と「帝国主義論」
- 上林貞治郎：「資本論」と修正主義「理論」
- 見田 石介：「資本論」の立場と方法
- イ・イ・カウフマン：カール・マルクスの経済学批判の見地，二村新太郎訳 村田陽一校閲
- しほろんずいそう
- 宮川 実：「資本論」と河上肇先生
- 岡林 辰男：嵐と青春
- 蔵原 惟人：「資本論」と芸術
- 長谷部文雄：私の「資本論」翻訳
- 津根 二郎：「資本論」と鬼塚安雄氏
- 井尻 正二：雲のなかの孤高
- 平野義太郎：日本資本主義の機構と「資本論」
- 西野 展吉：人間交響楽・マルクス夫妻そしてエンゲルス
- 「資本論」年表

(49) 1968, 5

- 生誕150年
- 土屋 保男：若きマルクス断章

(53) 1968, 9

- 守屋典郎：マルクス主義の発展と現代

季刊 経済学論集

33(3) 1967, 10

- 「資本論」100年特集
- 〈論文〉
- 鈴木鴻一郎：唯物史観と経済学
- 日高 普：「資本論」における商業資本

大内 秀明:「資本論」と純粋資本主義
 武田 隆夫:サムエルソンのマルクス批判
 戸原 四郎:「資本論」と修正主義論争〜蓄積
 論を中心として〜

大内 力:「資本論」と日本資本主義論
 「資本論」事始め(座談会):大内兵衛;有沢
 巳;山田盛太郎;脇村義太郎;(司会)隅谷三
 喜男;(きき手)鈴木鴻一郎;武田隆夫

〈資料〉

鈴木鴻一郎;伊藤誠:東京大京経済学部研究
 所蔵マルクス・エンゲルス文書(著作その他)

目録

〈展望〉

佐美 光彦:最近の「資本論」研究

34(2) 1968, 7

鈴木鴻一郎:『資本論』の「ちらし広告」

経 済 学 雑 誌

58(5) 1968, 5

マルクス生誕150年特集号

福井 孝治:マルクス雑誌

末永 隆甫:『資本論』百年祭とアメリカ経済
 学会〜紹介と論評〜

吉村 勲:マルクス賃金論の方法と構成

藤田 整:商品物神性と「社会主義商品」論
 〈文献目録〉

佐藤金三郎:大阪市立大学附属図書館所蔵マル
 クス・エンゲルス図書(1843-1895)目録

経 済 評 論

16(12) 1967, 11

資本論百年記念特集 帝国主義・現代・社会主
 義

現代世界とマルクス経済学(対談):大内力;長
 州一二;富塚文太郎

本間要一郎:「資本論」と「帝国主義論」

清水 嘉治:資本輸出論の再検討

森田 桐郎:現代資本主義分析と変革の視点〜
 バラン=スウィージ「独占資本」批判〜

向坂 逸郎:社会主義は人間に何をもたらした

か

岡 稔:労働に応じた分配について〜社会
 主義経済のヴィジョンと実際〜

榎並 公雄:社会主義と市場経済の機能〜ユー
 ゴにおける国際シンポジウムの討論から〜
 (インタビュー)

新しい社会主義と日本の現実〜「日本の社会主
 義」をめぐって:江田三郎

経 済 研 究 (一橋大)

19(3) 1968, 7

都留 重人:マルクス生誕150年記念集会〜パ
 リーでの催おし〜

研究資料 (社会主義政経研)

12(1) 1968, 1/2

オットー・ラインホルト:マルクス・レーニン
 主義は勝利する〜「資本論」100年記念国際
 学術会議へのわが党の貢献〜

三 田 学 会 雑 誌

60(9) 1967, 9

「資本論」刊行百年記念特集

小池 基之:「資本論」における土地所有の論
 理〜研究序説〜

遊部 久蔵:商品論の成立

飯田 鼎:「資本論」とヨーロッパ労働運動

飯田 裕康:信用と恐慌との連撃について〜
 つの覚え書〜

歴 史 評 論

(198) 1967, 2

布村 一夫:マルクスの原始人〜1867年によせ
 て〜

(209) 1968, 7

「資本論」百年と「明治百年」

羽仁 五郎:「明治百年」と闘うわれわれの論
 理

守屋 典郎:「資本論」百年・「帝国主義論」
 五十年

理 論 政 策

(9) 1968, 6

マルクス・レーニン主義の学説の擁護と発展のために～マルクス生誕 150 周年記念学術集会における日本共産党代表の報告 (1968年 4 月モスクワ) ～

(11) 1968, 9

マルクス主義とわれわれの時代～ドイツ社会主義統一党中央委員会主催カール・マルクス生誕 150 周年記念集会 (1968年 5 月 2～4 日ベルリン) における日本共産党中央委員会代表沼田秀郷中央監査委員の発言原稿全文

立 命 館 経 済 学

16(34) 1967, 10

「資本論」100 周年記念特集号

〈論 説〉

長谷部文雄：「資本論」初版以後とその各国における普及状況

相沢 秀一：「資本論」の周辺

小旗 広勝：現代の恐慌とマルクス恐慌論

岡崎 栄松：初期マルクスの経済理論について～「経済学＝哲学手稿」を中心として～

小野 進：帝国主義論～シュンペーターとレーニン～

〈資 料〉

松野 昭二：路耕漢「『資本論』第一章第四節の要点と疑問についての試論」～(「経済研究」誌1963年第5期) ～

世 界

(262) 1967, 9

内田 義彦：「資本論」と現代～明治百年と「資本論」百年～

世 界 経 済

(133) 1967, 9

堀江 忠男：「資本論」百年と弁証法

世界経済評論

12(8) 1968, 8

吉信 蘭：「資本論」百年とロンドン

世界経済と国際関係

(1) 1968, 6

〈学会消息〉

マルクス「資本論」100 周年記念～モスクワにおける学術会議～

世界政治資料

(271) 1967, 11, 25

「資本論」第 1 巻発行 100 周年

ワルター・ウルブリヒト：国家独占資本主義と西ドイツ労働者階級の闘争の諸問題

片 慶値：収奪者たちは収奪される

(284) 1968, 5, 25

マルクス・レーニン主義の学説の擁護と発展のために～マルクス生誕 150 周年記念学術集会における日本共産党代表の報告, 1968年 4 月モスクワ～

社 会 主 義

(190) 1967, 8

グラビア「資本論」100 年東京集会から

井上 正義：マルクスとハイネ

原田 博：日本における「資本論」研究の現況～「唯物史観」・「経済」・「思想」の論文から～

新世界ノート

(35～36) 1967, 9～10

エリ・レオンチェフ：「資本論」の現代的意義 (上・下)

(38) 1967, 12

イ・ソコロフ：レーニンの独占資本主義分析と現代

オットー・ラインホルト：マルクス「資本論」
の世界変革的意義

思 想

(515) 1967, 5

「資本論」と「帝国主義論」

大内 力：現代における「資本論」と「帝国主義論」

長州 一二：「資本論」・「帝国主義論」・現代
佐藤金三郎：「資本論」と「帝国主義論」

平田 清明：歴史理論としての「資本論」～マルクス市民社会論の生成と展開

「資本論」と「帝国主義論」（対談）：宇野弘蔵；梅本克巳

杉原 四郎：労働疎外論と「資本論」

清水 正徳：「資本論」における物化の問題

瀬尾美巳子：科学方法論と現代経済学

置塩 信雄：国家独占資本主義と資本破壊

本間要一郎：「帝国主義論」における「独占」の概念

岡 稔：労働に応じた分配とブルジョア的
権利～マルクス・エンゲルス・レーニンの社会主義観～

川田 侃：経済軍事化と帝国主義

宮崎 犀一：自由帝国主義～問題の開拓～

井村喜代子：「資本論」と日本資本主義分析～再生産表式論をめぐる～

化崎 泉平：「資本論」からマルクス主義哲学へ

「資本論」を語る（座談会）：井尻正二；川島武宣；川添登；中村雄二郎；野間宏；内田義彦

(519) 1967, 9

川添 登：建築とマルクス

展 望

(106) 1967, 10

I・ドイッチャー：「資本論」と私、山西英一
訳

図 書

(217) 1967, 9

鈴木鴻一郎：『資本論』（第1巻）の初版本と日本

(218) 1967, 10

「資本論」特集

宇野 弘蔵：河上肇博士の外国留学無用論

向坂 逸郎：二十一冊目の「資本論」

はじめて「資本論」を読んだころ：高島善哉；
植谷雄高；田中寿美子

小島 恒久：「資本論」紀行

戸原 四郎：運命のマルクス遺稿

(225) 1968, 5

鈴木鴻一郎：在日『資本論』（第1巻）初版本補遺

(228) 1968, 8

鈴木鴻一郎：最近のマルクス切手

(229) 1968, 9

鈴木鴻一郎：「最近のマルクス切手」補遺～ハンガリーのマルクス生誕150年記念切手その他について～

唯 物 史 観

(4) 1967, 4

ソ連邦共産党中央委員会附属マルクス・レーニン主義研究所より唯物史観編集部へのメッセージ（所長・ソ連邦科学アカデミー正会員ベボスベロク）

「資本論」100年記念特集号に寄す（ドイツ社会主義統一党中央委員会附属マルクス・レーニン主義研究所々長・教授ローター・ベルトホルト博士）

大内 兵衛：もういちど封建論争を（巻頭言）

向坂 逸郎：「資本論」の意味するもの

I 「資本論」研究

宇野 弘蔵：資本の物神性について

岡崎 三郎：資本論の一つの読み方～社会諸科

学の展開の基点としての資本論～

大島 清：「資本論」への道

鈴木喜久夫：利子論の方法

塚本 健：社会的間接資本について

Ⅱ 「資本論」と現代

大内 力：国家独占資本主義と恐慌

近江谷左馬之介：社会主義の基準価格

吉田震太郎：独占資本と医療費問題

奥田 八二：独占資本と賃金～昇給制度の職務給化政策について～

修正主義批判

1. 長坂聰：ペルンシュタインと修正主義の背景

2. 田中慎一郎：構造改革論批判～その国家独占資本主義論について～

Ⅲ 「資本論」と日本

日本における「資本論」の導入と定着(対談)：

鈴木鴻一郎、(きき手)長坂聰；鎌倉孝夫(唯物史観編集委員会)

鎌倉 孝夫：価値論論争の批判的一考察～樺田・河上論の残したもの～

Ⅳ 日本の社会主義運動(座談会)：大内兵衛；向坂逸郎；木原実；川口武彦；佐藤保；福田豊；編集委員会(長坂聰・新田俊三)

随筆 「資本論」と私：鈴木茂三郎；相原茂；灰原茂雄

前 衛

(281) 1968, 7

マルクス主義とわれわれの時代～ドイツ社会主義統一党中央委員会主催カール・マルクス生誕150周年記念集会(1968年5月2～4日ベルリン)における日本共産党中央委員会代表沼田秀郷中央監査委員の発言原稿全文～

「資本論」の成立

経済学史学会編 岩波書店 1967, 11

第1部 「資本論」の思想史的背景

1. イギリス 遊部久蔵：リカード派社会主義者とマルクス～「資本論」前史としてのリカード派社会主義者およびとくにジョン・フラ

ンシス・ブレイの見解の意義について～、高

島光郎：J. S. ミルとアイルランド問題

2. フランス 吉原泰助：経済学批判体系の形成とシモン・ド・ドゥ・シモンディ、森川喜美雄：ブルードンとマルクス～ブルードン「貧困の哲学」を中心として～

3. ドイツ 細見英：マルクスとヘーゲル～経済学批判と弁証法、山中隆次：ヘスとマルクス～ドイツ古典哲学とフランス社会主義の結合を中心として～

第2部 「資本論」形成の諸問題

1. 1840年代 服部文雄：「聖家族」の経済学的意義～初期マルクスの経済学研究の一段階～、重田晃一：労働疎外論と唯物史観～「経済学・哲学手稿」から「ドイツ・イデオロギー」へ～

2. 1850年代 高木幸二郎：「経済学批判要綱」における「資本と労働の交換」について～商品としての「労働力」範疇の生成～、平田清明：50年代マルクスの市民社会論～歴史理論としての商品論の成立～

3. 1860年代 佐藤三郎：「経済学批判」体系と「資本論」～手稿「経済学批判」(1861～63年)を中心として～、杉原四郎：1866年1月1867年9月～「資本論」第1巻初版形成史の一瞥～

第3部 「資本論」第一巻の反響

大塚金之助；杉山忠平：はじめに、良知力：ドイツ、石川郁男：ロシア、都築忠七：イギリス、津田内匠：フランス

資本論の展開～批判・反批判の系譜

越村信三郎；石原忠男；古沢友吉編者 同文館 1967, 12

第1章 古沢友吉：「資本論」の展開～批判と反批判の動き、第2章 大内秀明：価値論論争、第3章 古沢友吉；佐羽菊次：貨幣価値論争、第4章 鶴田満彦：資本蓄積論争、第5章 平田重明：窮乏化論争、第6章 越村信三郎：価格・利潤論争～「転形問題」をめぐって～、第7章 井上周八：地代論論争、

第8章 石原忠男：恐慌論争，第9章 畑孝一：補論～日本マルクモ主義経済学小史～

赤 旗

1967, 9, 14

「資本論」発刊百周年

岡本 博之：「資本論」の今日における意義

金子ハルオ：「資本論」百年と三つの雑誌

土屋 保男：「資本論」発刊の日

朝 日 新 聞

1967, 4, 12～13

鈴木鴻一郎：「資本論」と日本（上・下）～刊行100年に寄せて～

朝 日 新 聞（夕刊）

1968, 3, 22

小島恒久：マルクスと財閥・興味深い系譜

読 書 の 友

1967, 6, 12

マルクスと「資本論」（対談）

1967, 9, 11

「資本論」と日本（対談）

～ふたたび「資本論」100年によせて～

1967, 9, 18

「資本論」と現代（対談）

～「資本論」発刊100年の記念日によせて～

毎 日 新 聞

1967, 6, 8

大内兵衛氏の「マルクス随想」～「資本論」発刊100年記念の東京集会から～

日本経済新聞

1967, 8, 7

木村健康：資本主義は崩壊したか～「資本論」以後の百年～

日本読書新聞

1967, 7, 3

特集 資本論（1）

上山 春平：「資本論」・革命の武器

梯 明秀：哲学的核心を～「資本論」をいかに読むか～

私の研究プラン

柴田 高好：政治学プランの再現

瀬尾美巳子：認識論の把握を

岩田 弘：主体を前提にする

菊地 昌典：ロシア経済分析に

広松 渉：「価値」の存在性格

鈴木鴻一郎：「資本論」初版本随想

「資本論」刊行百年記念号関係文献

1967, 7, 10

特集 資本論（2）

私の研究プラン

大内 秀明：科学的研究の優先を

降旗 節雄：物の論理に純化

田中 清助：組織論を展開する

北園 正伸：地代の理論に関心

産業経済新聞（夕刊）

1967, 9, 18～19

関 嘉彦：「資本論」刊行百年に思う

図 書 新 聞

1967, 6, 10

降旗節雄：三誌の「資本論」特集（経済・唯物史観・思想）

[外 国 文 献]

[Bulgaria]

Планово Стопанство

23(6) 1968

150 години от рождението на Карл Маркс

Григоров, К. И.: Икономическото учение на Карл Маркс и съвременното развитие.

Вълчаева, В.: Научна сесия, посветена на 150-годишнината от рождението на Карл Маркс.

[Cuba]

Teoria y Practica

(40/41) Sept./Oct. 1967

Pérez, Humberto: En el centenario de edición de "El Capital".

(42/43) Nov./Dec. 1967

Portuondo, Jose Antonio: El primer centenario de "El Capital".

Pérez, Humberto: Vigencia de "El Capital".

[Canada]

The Canadian Journal of Economics and Political Science

33(1) Feb. 1967

Sowell, Thomas: Marx's "Capital" after one hundred years.

[Czechoslovakia]

Ekonomický Časopis

16(5) 1968

Heretik, Štefan: Marxov "Kapital" a súčasná ekonomická veda.

Politická Ekonomie

15(11) 1967

Hronovsky, J.: Karel Marx a cesta Rijnové revoluce.

16(1) 1968

Klaus, Václav: Konference o Marxove Kapitálu v USA.

Проблемы Мира и Социализма

11(5) Май 1968

К 150-летию со дня рождения Карла Маркса

Датт, Р. Палм: Марксизм и интернационализм.

Леонтьев, Лев: Марксизм и социалистические товарно-денежные отношения.

Рейнхольд, Отто: Актуальность марксистской теории кризисов (На основе показателей экономического развития ФРГ).

Федоров, Евгений: Общество и природная среда.

11(6) Июнь 1968

Маркс и современность

Ковальчик, Ю.: Мьерес, Ф.: Триумф революционных идей.

Ииввэнс, Б.: Учение живое, творческое.

[France]

Cahiers de l'I.S.E.A. S.-11

Economies et Sociétés

(6) June 1967

LE CAPITAL CENT ANS APRÈS

Rubel, M.: Avant propos.

Rubel, M.: De la philosophie à l'économie politique.

Mattick, P.: LE CAPITAL aujourd'hui.

Ollman, B.: Alienation and the law of value.

Marx, K.: Les résultats du processus de production.

Bauer, O.: L'histoire d'un livre.

Une lettre inédite de K. Marx.

Notes bibliographiques.

Economie et Politique

(164/165) Mar./Apr. 1968

Marx 1968

Pirolli, Robert: La théorie marxiste et les idéologies du capitalisme monopoliste d'État.

Boccara, Paul: Le "Capital" de Marx.

Vernay, Claude: Le capitalisme monopoliste d'État et les perspectives démocratiques.

Laurent, Serge: Classes sociales et rapports de classes.

Kahn, Jacques: La durée du travail et son intensité.

Vernay, Claude: Comment le capitalisme déforme les forces produc-

tives.

Launay, Jean: Réflexions sur la mesure de la production dans les conditions du capitalisme monopoliste d'État.

Rivière, Marc: La théorie keynésienne trente ans après.

Lefranc, Pierre: Karl Marx et les recherches économiques de Quesnay.

Ulbricht, Walter: Le «Capital» de Marx et le système socialiste développé en République Démocratique Allemande.

Fédossév, P. N.: Les fondements du communisme scientifique dans "le Capital" de K. Marx et l'édification de la société communiste en U. R. S. S.

L'Homme et la Société

(7) Jan./Feb./Mar. 1968

150^e anniversaire de la naissance de Karl Marx

[Études, Débats, Synthèses]

Schaff, Adam: L'humanisme marxiste.

Luporini, Cesare: Introduction à l'idéologie Allemande.

Goldmann, Lucien: L'Idéologie Allemande et les Thèses sur Feuerbach.

Semprun, Jorge: Économie et philosophie dans les «Grundrisse» de Marx.

Lefebvre, Henri: Forme, fonction, structure dans Le Capital.

Deutscher, Isaac: De l'Homme Socialiste.

Kalivoda, R.: Marx et Freud.

Abd-el-Malek Anouar: Vers une so-

ciologie comparative des idéologies.
Rodinson, Maxime: Le marxisme et la nation.

Sanvoisin, Jean: Rapport entre mode de production et concept de nation dans la théorie marxiste.

Perignon, Sylvain: Marxisme et positivisme.

[Recherches]

Depestre, René: Jean Price-Mars et le mythe de l'orphée noir ou les aventures de la négritude.

Boudarel, Georges: Essai sur la pensée militaire vietnamienne.

[Études critiques]

Regnier, André: De la théorie des groupes à la Pensée Sauvage.

Makarius, R. et L.: Ethnologie et structuralisme des Jaguars et des Hommes.

[Inédits et documents]

Andréas, Bert: Une interview de Karl Marx au Chicago Tribune.

Mehring, Franz: La scission de la Ligue des Communistes.

Riazanov, David: Communication sur l'héritage littéraire de Marx et Engels.

Fay, Victor: Esquisse pour un portrait de Marx.

[Germany (East)]

Die Arbeit

June 1967

Nick, Harry: „Das Kapital“—ein wissenschaftliche Gesellschaftsprognose.

Aussenhandel

17(9) Sept. 1967

Huber, G.: 100 Jahre Das Kapital.

Beiträge zur Geschichte der deutschen Arbeiterbewegung

9(2) 1967

Dlubek, Rolf; Skambraks, Hannes: Der Einfluß des „Kapitals“ von Karl Marx auf die deutsche Arbeiterbewegung 1867–1878.

9(3) 1967

Dlubek, Rolf; Skambraks, Hannes: Der Einfluß des „Kapitals“ von Karl Marx auf die deutsche Arbeiterbewegung 1867–1878—Die beginnende Verarbeitung der Ideen des „Kapitals“ in der Sozialdemokratischen Arbeiterpartei.

9(5) 1967

Wolf, Heide: Otto Meißner—der erste Verleger des „Kapitals“ von Karl Marx.

10(1) 1968

[Aus der Arbeit der Kommissionen zur Erforschung der Geschichte der örtlichen Arbeiterbewegung]

Bursian, Hans: Über den Einfluß des „Kapitals“ von Karl Marx auf die Magdeburger Arbeiterbewegung (1869–1871)—Forschungsprobleme und Ergebnisse.

[Wissenschaftliche Mitteilungen]

Birwa, B.: „Das Kapital“ von Karl

Marx in der Mongolischen Volksrepublik.

[Berichte und Bemerkungen]

Genkow, Heinrich: Wissenschaftliche Konferenz in Moskau zum 100. Jahrestag des Erscheins von Bd. I des „Kapitals“ von Karl Marx.

Skambraks, Hannes: Wissenschaftliches Kolloquium zum 100. Jahrestag des „Kapitals“.

Werchan, Inge: Buchausstellung 100. Jahre „Kapital“.

Deutsche Zeitschrift für Philosophie

15(8) 1967

100. Jahre „Das Kapital“ von Karl Marx

Eichhorn, Wolfgang, I.: Zur Theorie und Erforschung des sozialistischen Bewußtseins.

Koch, G.: Philosophische Aspekte der Marxschen Analyse der ökonomischen Gesetze im „Kapital“ und ihre Bedeutung für den Sozialismus.

Bollhagen, P.: Das Marxsche „Kapital“ und einige Fragen der Theoriebildung in der gegenwärtigen Soziologie.

Stiehler, G.: Die Marxsche Analyse der Widersprüche des Kapitalismus im „Kapital“ und der staatsmonopolistische Kapitalismus.

16(4) 1968

Zum 150. Geburtstag von Karl Marx
Schulze, H.: Marxismus und Geschi-

chtsprognose.

Stoljarow, V.: Zu Marx' Auffassung vom Systemcharakter der Gesellschaft.

Jopke, W.: Karl Marx und die deutsche bürgerliche Philosophie im 20. Jahrhundert.

Geyer, K.: Die Marxsche Kritik der ethisch-idealistischen Geschichtskonzeption Karl Höchbergs.

Krüger, G.: Marx' „Kapital“ und die bürgerliche philosophische Verfälschung des Gesetzes der Negation der Negation.

[Bemerkungen und Bericht]

Ulle, D.: Notwendige Kritik der „kritischen Theorie“.

Lindner, F., u. a.: Wissenschaftliche Konferenz „100 Jahre ‚Das Kapital‘ von Karl Marx und die dialektische Methode“.

Einheit

22(7) June 1967

KARL MARX »DAS KAPITAL« 1867
1967

Reinhold, Otto: Die weltverändernde Bedeutung des Marxschen Werkes „Das Kapital“.

Böhm, Karl: „Das Kapital“, das Kapital und die Prognostik.

Koziol, Helmut: Die Marxschen Analyse der gesellschaftlichen Produktion und die Lehre von der sozialistischen Wirtschaftsführung.

Schließer, Waldfried: Warenproduktion und wirtschaftliche Rechnungsführung.

- Steinitz, Klaus: Theoretische und praktische Probleme des ökonomischen Wachstums im Sozialismus.
- Kohlmei, Gunther: Karl Marx' Außenhandelstheorie und Probleme der außenwirtschaftlichen Beziehungen zwischen sozialistischen Staaten.
- Jahn, Wolfgang: Haupttendenzen der Verfälschung der Marxschen Mehrwerttheorie.
- Klein, Dieter: Über den Widerspruch zwischen Produktivkräften und Produktionsverhältnissen im gegenwärtigen Imperialismus.
- Maurischat, Gerd: Die wissenschaftlich-technische Revolution und die perspektivische Entwicklung in Westdeutschland.
- Anders, Martin; Veith, Horst: Die volks- und gewerkschaftsfeindliche Wirtschaftspolitik der Kiesinger/Strauß-Regierung.
- [Berichte und Konferenzen]
- Pietschmann, Albert: Charakteristische Grundzüge des entwickelten gesellschaftlichen Systems des Sozialismus in der DDR.
- Propagandisten fragen—antworten
- Maier, Harry: Das Gesetz der Ökonomie der Zeit im Lichte des entwickelten Gesellschaftssystems des Sozialismus.
- Zahlen—Fakten—Informationen
- Urojew, A. W.: „Das Kapital“ in Zahlen und Daten.
- Sperker, Heinrich: Die ungleichmäßige Entwicklung im Kapitalismus.

[U mfrage]

- Hennig, Günter: Wie pflegen unsere Verlage das Erbe Karl Marx'?
- Büttner, Horst: Staatsverlag der DDR.
- Beranek, August: VEB Deutscher Verlag der Wissenschaften.
- Mussler, Werner: Akademie-Verlag.
- Reichert, Willi: Verlag Die Wirtschaft.

[Das neue Buch]

- Petrak, Heinz: Die Geschichte einer großen Entdeckung.

22(8) July 1967

[Das neue Buch]

- Schoen, Arnold: Ein guter Anfang—Einführungen und Anleitungen zum Studium des Werkes von Karl Marx „Das Kapital“.

22(12) Nov. 1967

- Lamberz, Werner: Das Marxsche „Kapital“ von brennender Aktualität.

23(4/5) Apr./May 1968

- Zum 150. Geburtstag von Karl Marx
- Mittag, Günter: Karl Marx und die sozialistische Ökonomie.
- Söder, Günter: Ökonomie im sozialistischen Gesellschaftssystem.
- Stiernerling, Karl-Heinz: Die Marxsche Reproduktionstheorie und die Wirtschaftspolitik unserer Partei.
- Wachowitz, Heinz: Karl Marx und unsere sozialistische Landwirtschaft.
- Reinhold, Otto: Die westdeutsche Wirtschaft im Lichte der Marxschen Krisentheorie.

Bregel, E.: Die beiden sozialökonomischen Systeme und die bürgerliche Konvergenztheorie.

Stiehler, Gottfried: Der Dialektiker Karl Marx.

Banaschak, Manfred: Der Mensch als Objekt imperialistischer Manipulierung.

Koch, Hans: Marxsche Gesellschaftsprognose und sozialistische Kultur.

Kessler, Horst: Konvergenztheorie und Kultur.

INTERVIEW mit Genossen Prof. Dr. Lothar Berthold zur Marx-Engels-Forschung in der DDR.

Schmidt, Walter: Die historische Stellung der deutschen Revolutionen von 1848/49.

Kundel, Erich; Schmidt, Walter: Karl Marx und Friedrich Engels im Zerrspiegel der westdeutschen Historiographie.

Dinbek, Rolf: Unsere Partei wahrt das Erbe von Karl Marx und Friedrich Engels.

Seifert, Peter: Unsere Jugend und die revolutionären Traditionen.

Jahn, Wolfgang: Marx im Original studieren.

Kaiser, Bruno: Die Bücher von Maitland Park.

Schleifstein, Josef: Ein marxistisches Programm für die Bundesrepublik.

Hesselbarth, Hellmut: Die Rolle der Arbeiterklasse in der Strategie der kommunistischen Parteien Westeuropas und Karl Marx.

M., M.: „Ideen Mao Tse-tungs“ gegen

den Marxismus.

[Zahlen—Fakten—Informationen]

Werchan, Inge: Zur Verbreitung der Schriften von Karl Marx in Deutschland.

Bildung, Verteilung und Verwendung des gesellschaftlichen Gesamtprodukts.

[Das neue Buch]

Bartel, Horst; Schröder Wolfgang; Seeber, Gustav: Karl Marx—eine Biographie.

Probleme der politischen Ökonomie. Jahrbuch des Instituts für Wirtschaftswissenschaften (Deutsche Akademie der Wissenschaften zu Berlin)

Bd. 11 1968

Dem 150. Geburtstag von Karl Marx gewidmet

Oelssner, Fred: Die Bedeutung des „Kapitals“ von Karl Marx für die Entwicklung der ökonomischen Wissenschaft.

Alter, L. B.: „Das Kapital“ von Marx und die moderne bürgerliche politische Ökonomie.

Meissner, Herbert: Bürgerliche Wachstumstheorie und Marx.

Stojanović, Radmila: Die Marxsche Gleichgewichtstheorie im Lichte der ökonomischen Kybernetik.

Kohlmei, Gunther: Planen als Regeln und Steuern.

Katzenstein, Robert: Probleme der Ökonomie der vergegenständlichten

Arbeit, insbesondere der Arbeitsmittel, im Wachstumsprozess.

Huber, Gerhard: Der Einfluss der internationalen sozialistischen Arbeitsteilung auf das ökonomische Wachstum der RGW-Länder unter besonderer Berücksichtigung der Angleichung des ökonomischen Entwicklungsniveaus.

Sowjetwissenschaft. Gesellschaftswissenschaftliche Beiträge

1967(2) Feb. 1967

Leontjew, L.: 100 Jahre „Kapital“.

Staat und Recht

17(4) 1968

Zum 150. Geburtstag von Karl Marx
Polak, Karl: Karl Marx' " Kritik des Gothaer Programms" und die Lehre vom sozialistischen Staat.

Gollnick, Rainer: Haney, Gerhard: Sozialistisches Recht und Gerechtigkeit.

17(5) 1968

Zum 150. Geburtstag von Karl Marx
Loose, Wolfgang: Karl Marx und die Gesellschaftsprognostik.

Wirtschaftswissenschaft

15(6) June 1967

100 Jahre „Das Kapital“ von Karl Marx

Reinhold, Otto: Die aktuelle Bedeutung des „Kapitals“ von Karl Marx für die politische Ökonomie des Sozialismus.

Schließer, Waldfried: Probleme der Warenproduktion und des Wertgesetzes im Sozialismus.

Steinitz, Klaus: Theoretische und praktische Probleme des ökonomischen Wachstums im Sozialismus.

Klein, Dieter: Über die inneren Widersprüche des modernen Imperialismus.

Hess, Peter: Der Kapitalismus und das Problem des gesellschaftlichen Fortschritts.

15(7) July 1967

Koziolk, Helmut: Die Marxsche Analyse der gesellschaftlichen Produktion und die Hauptkettenglieder der Lehre von sozialistischen Wirtschaftsführung.

15(8) Aug. 1967

Kohlmei, Gunther: Karl Marx' Außenhandelstheorie und Probleme der außenwirtschaftlichen Beziehungen zwischen sozialistischen Staaten.

Lemmnitz, Alfred: Lage, Bewußtseinsentwicklung und Kampf der Arbeiterklasse in Westdeutschland.

Khalatbari, Parviz: Die Anwendung der Reproduktionsmodelle von Marx auf die Entwicklungsländer.

15(9) Sept. 1967

Drechsel, Eberhard; Reichardt, Helmut; Willkommen, Wolfgang: Bericht vom Plenum der Konferenz— Die aktuelle Bedeutung des „Kapitals“ von Karl Marx für die po-

litische Ökonomie des Sozialismus.
Lammich, Konrad; Molkentin, Kurt;
Scholze, Edeltraut: Bericht Arbeitskreis 1—Probleme der Warenproduktion und des Wertgesetzes im Sozialismus.

Mittelbach, Hans; Prager, Eberhard;
Slawik, Franz: Bericht Arbeitskreis 2—Theoretische und praktische Probleme des ökonomischen Wachstums im Sozialismus.

Baltrusch, Enith; Lüdtke, Edelgard:
Bericht Arbeitskreis 3—Die Marx-sche Analyse der gesellschaftlichen Produktion und die Hauptkettenglieder der Lehre von der sozialistischen Wirtschaftsführung.

Becker, Gerhard; Bruder, Hans: Bericht Arbeitskreis 4—Karl Marx' Außenhandelstheorie und Probleme der außenwirtschaftlichen Beziehungen zwischen sozialistischen Staaten.

Wagner, Hans: Bericht der Konferenz —Die Vertiefung der Widersprüche des kapitalistischen Systems, die Ursachen seiner wachsenden Aggressivität und die Entfaltung des Klassenkampfes des Proletariats.

Kratsch, Ottomar: Volkswirtschaftliche Effektivität und Fondsintensität.

Fischer, H.; Haberland, F.; Krieg, I.; Liehmann, P.; Nole, H.: Erfahrungen mit der Weiterbildung von Führungskadern.

Meissner, Herbert: Marxismus und Konvergenztheorie.

König, Erika: Die Transformationsideologie—eine aktuelle Variante des Antikommunismus.

Lehmann, Hermann: Entwicklungstendenzen in den bürgerlichen Wirtschaftswissenschaften.

Müller, Klaus O. W.: Probleme des gegenwärtigen Einflusses der keynesianischen Wirtschaftstheorie in Westdeutschland.

Rudolph, Günter: Die Einwirkungen des „Kapitals“ von Karl Marx auf den bürgerlichen Demokraten Ferdinand Tönnies.

Sommerfeld, Erich: Marx, Aristoteles und andere.

Schönbach, Armin: Zur Kritik der älteren Historischen Schule am Marxismus.

Richter, Walter: Zur Theorie der Dienstleistungen in der sozialistischen Landwirtschaft der DDR.

Rauchhaus, Karlheinz: Die Optimalkostendynamik als Element der Preisbildung und der Nutzenberechnung.

[Kritik und Bibliographie]

Glubek, Rolf; Skambraks, Hannes:
„Das Kapital“ von Karl Marx in der deutschen Arbeiterbewegung 1867-1878

Bibliographie zum Thema „100 Jahre 'Das Kapital'“.

16(5) May 1968

Zum 150. Geburtstag von Karl Marx

**Wissenschaftliche Zeitschrift
der Hochschule für Ökonomie**

Berlin

12(3-S.-H.) 1967

50. Jahre Gross Sozialistische Oktoberrevolution

100. Jahre Karl Marx: „Das Kapital“
Ambrée, Kurt: Zu einigen Aufgaben der Hochschulparteiorganisation in der Auswertung des VII. Parteitages der Sozialistischen Einheitspartei Deutschlands.

Schröder, Otto: Zur historisch-politischen Bedeutung der Arbeiten Franz Mehring's über die Große Sozialistische Oktoberrevolution.

Sieber, Rolf: W. I. Lenin, der Große Oktober und die politische Ökonomie des Sozialismus.

Hauk, Roland: Die vergegenständlichte Arbeit.

Reichenberg, Rudolf: „Das Kapital“—ein wichtige inhaltliche- und methodische Quelle für wirtschaftstheoretische und -praktische Untersuchungen der Proportion Ersatzfonds zu Nationaleinkommen innerhalb des gesellschaftlichen Gesamtprodukts.

Tittel, Gottfried: Neue Erscheinungen in Ökonomie und Politik des westdeutschen Imperialismus.

Hoell, Günter: Die Grundrententheorie von K. Marx und die gegenwärtige kapitalistische Grundrente.

Muschwits, Edith; Neelsen, Karl: Der Begriff der Struktur in der politischen Ökonomie.

Lammich, Konrad: Eine bürgerliche

Kritik an der marxistischen Geldtheorie und was sich dahinter verbirgt.

Kupfernagel, Ernst: Neue Aspekte zu Theorie der Kosten und Kostenrechnung.

Schliesser, Waldfried: Zu einigen Problemen der wert- und preistheoretischen Diskussion in der politischen Ökonomie des Sozialismus.

Knop, Hans: Thesen zur Optimierung des volkswirtschaftlichen Reproduktionsprozesses.

Michael, Helmut: Optimaler Plan—Arbeitsaufwand—Preissystem.

Bliefernich, Manfred: Aggregationsprobleme bei Verflechtungsbilanzen.

John, Friedmar; Vogel, Erhard: Theoretische Grundlagen und Grundsätze einer finanziellen Perspektivplanung.

Sachse, Ekkerhard; Hahn, Günter: Zur Fragen des Arbeitseinkommens unter den Bedingungen sozialistischer Warenproduktion.

Grabley, Hanna: Zur Analyse der Gesetzmäßigkeiten und Faktoren des Zahl, Berufs- und Qualifikationsstruktur der Beschäftigten der technisch-vorbereitenden Bereiche in der Industrie.

Faude, Eugen: Zum Problem der Konfrontation der Industrie mit den Bedingungen des Weltmarktes.

Hannermann, Gerfried: Die Formen der wechselseitigen Einflußnahme zwischen den Wachstumsfaktoren Investitionen und Außenhandel.

Kupferschmidt, Walter: Die komplexe sozialistische Absatzpolitik—Instrument der Ausnutzung und Gestaltung der Marktkategorien.

13(2) 1968

Sieber, Rolf: Der Marxismus—eine revolutionäre Umwälzung in der Geschichte der politischen Ökonomie.

**Wissenschaftliche Zeitschrift
der Hochschule für Verkehrs-
wesen „Friedrich List“
in Dresden**

1968(1) 1968

Mahler, Ribhard: Kolloquium zur Bedeutung des „Kapitals“ für die sozialistische Gesellschaftsordnung.

**Wissenschaftliche Zeitschrift
der Karl-Marx-Universität
Leipzig**

16(5) 1967

Reinert, Otto: Karl Marx „Das Kapital“—Erbe und Verpflichtung—Bericht über die Konferenz der Wirtschaftswissenschaftlichen Fakultät der Karl-Marx-Universität Leipzig.

**Zeitschrift für
Geschichtswissenschaft**

16(3) 1968

Zum 150. Geburtstag von Karl Marx
Merkel, Renate; Reissig, Karl; Schmidt, Walter: Karl Marx und der

Sozialismus—Die Entwicklung des Sozialismusbildes durch Marx und Engels.

Becker, Gerhard: Zwei neuentdeckte Briefe von Karl Marx—Ergänzende Tatsachen zu seiner Biographie für das Jahr 1848.

Ullrich, Horst: Die geistigen Väter der modernen imperialistischen Marxkritik—Zur Reaktion der bürgerlichen Ideologie auf die Entwicklung der marxistischen Weltanschauung im Drittel des 19. Jahrhunderts.

Wrona, Vera: Die theoretisch-weltanschauliche Entwicklung August Bebels.

¹ [Germany (West)]

Marxistische Blätter

(S. 2) 1967

Karl Marx DAS KAPITAL 1967

Beiträge über „Das Kapital“ und marxistische politische Ökonomie. Veröffentlicht anlässlich des 100. Jahrestages des Erscheinens des Hauptwerkes von Karl Marx.

Marxistische Blätter—Redaktion:

Vorwort

Dobb, Maurice: Zur politischen Ökonomie des „Kapitals“.

Leontjew, L.: Eine höhere Stufe der menschlichen Erkenntnis der Welt.

Klein, Dieter: Der Konflikt zwischen Produktivkräften und kapitalistischen Produktionsverhältnissen heute.

Wygodski, Witali S.: Zur inneren Struktur und Methodik des „Kapital“.

Perlo, Victor: Anwendung Marxscher Reproduktionsschemata auf den staatsmonopolistischen Kapitalismus.

Boccarda, Paul: Die Theorie der Überakkumulation und die öffentliche Finanzierung.

Gerns, Willi: Bemerkungen zur Marxschen Theorie der Lage der Arbeiterklasse.

Jung, Heinz: „Das Kapital“ und die Erforschung der sozialen Beziehungen in der kapitalistischen Industrie.

Prager, Theodor: Kritik einer Marx-Kritik.

Koziolek, Helmut: „Das Kapital“ und die Wirtschaftsorganisation und -leitung im Sozialismus.

Đlubek, Rolf; Gemkow, Heinrich: „Das ist ein Schwert und Harnisch für uns“.

Der Weg des „Kapitals“—220 Ausgaben in 43 Sprachen.

(6) Nov./Dec. 1967

[Berichte]

„100. Jahre, Kapital“

in London (H. Ju.)

in Frankfurt/Main (Heinz Jung)

in Hamburg (Günter Hänsel)

(S. 1) 1968

Marxismus in unserer Zeit

Veröffentlicht zum 150. Geburtstag

von Karl Marx am 5. Mai 1968

Buhr, Manfred: Humanismus—Geschichte—Marxismus

Bollhagen, Peter: Die marxistische Geschichtsauffassung und ihre heutigen Kritiker.

Bregel, E.: Marxismus und Konvergenztheorie.

Jung, Heinz: Die Marxsche Klassentheorie und ihre Kritiker.

Garaudy, Roger: Strukturalismus und der „Tod des Menschen“.

Cornforth, Maurice: Sprachphilosophie im heutigen Großbritannien.

Steigerwald, Robert: Bemerkungen zur Dialektik bei Herbert Marcuse.

Müller, Thomas: Dialog als Problem des postkonziliaren katholischen Denkens.

März, Eduard: Karl Marx und der Kapitalismus von heute.

Abendroth, Wolfgang: Klassenausschließungen in der spätkapitalistischen Industriegesellschaft—Die Rolle der Intelligenz.

Perlo, Victor: Zur politischen Ökonomie des Vietnamkrieges.

Hoffmann, Werner: Die Auffassung von der sozialistischen Revolution und der Diktatur des Proletariats bei Marx und Engels und in der kommunistischen Bewegung der Gegenwart.

Hollitscher, Walter: Die marxistische Philosophie und neue Entwicklungstendenzen in den Naturwissenschaften.

Bernal, John D.: Wissenschaft und

Politik.

Lilley, Sam: Wissenschaft, Technologie und Sozialismus.

Klaus, Georg: Der Plan als kybernetische Kategorie.

Berg, Axel: Kybernetik und Zukunftsplanung.

Kalweit, Werner: Die Planung des ökonomischen und wissenschaftlichen Fortschritts in der sozialistischen Wirtschaft der DDR.

Reinhold, Otto: Zentrale Leitung, Eigenverantwortlichkeit und Mitgestaltung—Das Neue Ökonomische System.

Beyer, Wilhelm R.: Das philosophische Erbe im Marxismus.

[Hungary]

Acta oeconomica

2(4) 1967

Bródy, A.: Dual concept of the economy in Marx's "Capital".

Közgazdasági Szemle

14(10) 1967

Bródy, A.: A marxizmus gazdaságtan egzaktsága,

15(5) May 1968

Marx, Karl: A tőke szövege fejezetek.

Statisztikai Szemle

45(11) Nov. 1967

Horváth, Róbert: „A tőke” c. művének 100 éve és a statisztikai tu-

domány.

[Netherlands]

De Nieuwe Linie*

(23) Oct. 1967

Kwant, R. C.: Marx en de oktober-revolutie.

(4) Apr. 1968

Mullenders, Leo: De jonge jaren van Karl Marx.

De Nieuwe Stem*

Aug./Oct. 1967

van Sante, J.: Honderd jaar Das Kapital.

Politiek en Cultuur*

27(8/9) Aug./Sept. 1967

de Vries, Theun; Door de ogen van Marx, "Het Kapitaal" en het Nederlandse kapitalisme.

van Dongen, S.: Domela Nieuwenhuis en de marxistische economische leer.

28(5) May 1968

Nieuwenhuis, Domela: Karl Marx over wetenschap en vooruitgang (fragment of a speech of the yearly celebration of the Chartist paper "The Peoples Paper" April 14. 1867; reprint)

Vrij Nederland*

(18) Nov. 1967

van Sante, J.: Honderd jaar Das Ka-

pital.

(4) May 1968

Constandse, A. L.: Karl Marx—na 150 jaar een suggestieve mythe.

[Poland]

Biuletyn Naukowy (Wydziału Ekonomii Politycznej, Uniwersytet Warszawski)

(20) Mar. 1967

Żurawicki, Seweryn: Miejsce "Kapitału" Marksa w rozwoju metodologii nauk ekonomicznych—W stulecie wyjścia z druku I tomu "Kapitału" K. Marksa.

Ekonomista

1967(2) 1967

W setna, rocznicę, "Kapitału" Karola Marksa.

Kalecki, M.: Zagadnienie realizacji u Tugana-Baranowskiego i Róży Luksemburg.

Kowalik, T.: Kapitał Karola Marksa w literaturze polskiej—miscellanea historyczne.

Kucharski, M.: Marks a niektóre współczesne problemy pieniądza.

Lipiński, E.: Marksowska teoria kryzysów.

Lukawer, E.: Marks i Schumpeter o gospodarce socjalistycznej.

Mikolajczyk, Z.: Teoria alienacji a „Kapitał”.

Minc, B.: 100 lat marksowskiej teorii

ekonomicznej—w związku z artykułami P. Samuelsona i G. Haberlera. Przelaskowski, W.: 100 lat marksowskiej teorii ekonomicznej—w związku z artykułami P. Samuelsona i G. Haberlera—aneks matematyczny do artykułu B. Minca.

Sachs, I. I.: Niektóre aspekty teorii formacji społeczno-ekonomicznych

Temkin, G.: O aktualności teorii wartości Marksa.

Kluza-Wolosiewicz, Z.: Joanny Robinson krytyka Marksa.

Zagórski, J.: Nieprodukcyjność kapitału

1967(3) 1967

Zawadzki, J.: Czy teoria Marksa wytrzymała próbę czasu?

Polish Perspectives

10(8/9) 1967

Lukaszewicz, Aleksander: 'Das Kapital' centenary.

[Rumania]

Probleme Economice

20(7) July 1967

Centenarul spăritiei primului volum din "Capital"

Surpat, Gh.; Mocanu, C.: Răspîndirea „Capitalului” în România 1867-1944.

Ionescu, V.: Relațiile agrare din Principatele Române în analiza lui Karl Marx.

Ivanciu, N.: Doctrina marxistă is

teoriile unor economişti burgezi
români

21(4) Apr. 1968

150 de ani de la naşterea lui Karl
Marx

Ivanciu, N.: Aportul lui K. Marx la
dezvoltarea ştiinţei economice.

Deac, Augustin: Insemnari inedite
ale lui K. Marx privind locul Ro-
maniei in economia europeana.

[Switzerland]

Cahiers Vilfredo Pareto

(16/17) 1968

Valiani, Leo: Karl Marx heute—Zum
150. Jahrestage seiner Geburt.

[United Kingdom]

Labour Monthly

50(2) Feb. 1968

Pashkov, Anatoli: Marx's "Capital"
and socialist construction.

50(5) May 1968

[Notes of the monthly]

R. P. D.: Marxism—150 years of vin-
dication.

Marxism Today

11(10) Oct. 1967

Dobb, Maurice: Karl Marx's "Capi-
tal".

12(1) Jan. 1968

A Symposium on the 50th Anniver-

sary of Lenin's "Imperialism" and
the centenary of Marx's "Capital".
Campbell, J. R.; Ramelson, Bert:
British state monopoly capitalism
and its impact on trade unions and
wages.

12(6) June 1968

On the 150th Anniversary of the
Birth of Karl Marx

Hobsbawm, E. J.: Karl Marx and the
British labour movement.

Peace, Freedom and Socialism

11(5) May 1968

The 150th Anniversary of the Birth
of Karl Marx

Dutt, R. Palme: Marxism and inter-
nationalism.

Leontyev, Lev: Marxism and socialist
commodity-money relations.

Reinhold, Otto: The Marxist theory
of crises—Its relevance today (Based
on the FRG economy).

Fyodorov, Yefgeny: Man and nature.

11(6) June 1968

Marx and our time

Kowalezyk, J.; Mieres, F.: Revolu-
tionary ideas triumph.

Nivens, B.: The vitality of Marxism.

[U. S. A.]

The American Economic Review

57(2) May 1967

(Papers and proceedings of the Seven-

- ty-ninth Annual Meeting of A. E. A.
Dec. 1966)
- Das Kapital: A centenary appreciation
- Letiche, John M.: Introductory comments.
- Erllich, Alexander: Notes on Marxian model of capital accumulation.
- Samuelson, Paul A.: Marxian economics.
- Bronfenbrenner, Martin: Marxian influence in "bourgeois" economics.
- Discussion: Every D. Domar; Donald F. Gordon; H. Scott Gordon.

American Journal

7(2) Sept. 1967

- Wolfe, Bertram D.: Das Kapital—One hundred years later. (From the Antioch Review, Winter, 1966-1967).

Monthly Review

19(7) Dec. 1967

- Karl Marx and Das Kapital
- Review of the monthly: Notes on the centennial of Das Kapital.
- Deutscher, Isaac: Discovering Das Kapital.
- Sweezy, Paul M.: Marx and the proletariat.

Political Affairs

47(1) Jan. 1968

- On the 100th Anniversary of Marx's "Capital"
- Lumer, Hyman: Marx and the historic role of the working class.

- Perlo, Victor: Will American labor lead the socialist revolution?
- Bert, Erick: Galbraith's defense of capitalism.

Science & Society

31(4) 1967

- A Centenary of Marx's CAPITAL
- Mins, Henry: Foreword.
- Gardner, Virginia: John Reed and Lenin—Some insights based on MSS. Collection at Harvard.
- Morris, Jacob: Marx as a monetary theorist.
- Goldway, David: Appearance and reality in Marx's CAPITAL.
- Shoul, Bernice: Karl Marx's solutions to some theoretical problems of classical economics.
- Foner, Philip S.: Marx's CAPITAL in the United States.
- Bronfenbrenner, Martin; Kosai, Yutaka: On the Marxian capital-consumption ratio.
- Sweezy, Paul M.: Rosa Luxemburg's THE ACCUMULATION OF CAPITAL.
- Sherman, Howard J.: Marx and the business cycle.
- Hodges, Donald Clarke: The method of CAPITAL.
- Schlesinger, Rudolf: The general law of capitalist accumulation—Past and future.
- Dobb, Maurice: Marx's CAPITAL and its place in economic thought.

[USSR]

Вестник Академии Наук СССР

1968(4)

Федосеев, П. Н.: Марксизм-ленинизм и наша эпоха.

**Вестник Ленинградского
Университета. Экономика,
Философия, Право**

22(11) Июнь 1967

Трифонов, Д. К.: К столетию выхода в свет первого тома «Капитала» К. Маркса.

23(11) Июнь 1968

Корчунова, Д. С.: Новая конституция ГДР в свете марксистско-ленинской теории.

Демин, А. А.: ФРГ: финансовый капитал и наука.

Протасенко, З. М.: К. Маркс—основатель научной истории философии.

Воробьев, М. Ф.: Отрицание отрицания в логическом и историческом анализе (на материале экономических трудов К. Маркса).

Кузнецова, И. М.: Концепция личности в ранних произведениях К. Маркса и Ф. Энгельса (1842–1846 гг.).

**Вестник Московского
Университета. История**

22(3) Май-июнь 1968

Галкин, И. С.: Карл Маркс и современность.

Мещерякова, Н. М.: Формирование пролетариата в освещении К. Маркса и его новейших буржуазных «критиков».

**Вестник Московского
Университета. Философия**

23(2) Март-апр. 1968

Васецкий, Г. С.: Маркс и современность.

Козлов, Д. Ф.: Вопросы исторического материализма в «Капитале» Карла Маркса.

Нарский, И. С.: Логика «Капитала» Маркса.

Вазюлин, В. А.: Проблема исследования противоречия в «Капитале» К. Маркса.

Богатов, В. В.: «Капитал» К. Маркса в России 70-х годов XIX в.

**Вестник Московского
Университета. Экономика**

22(1) Янв.-февр. 1967

Шеховцов, А. В.: Метод «Капитала» К. Маркса.

22(4) Май-июнь 1967

Первому тому «Капитала» К. Маркса 100 лет

Выгодский, В. С.: Из истории создания «Капитала».

Шкредов, В. П.: К истории разра-

ботки концепции собственности в
«Капитале» К. Маркса.

Тронеv, К. П.: К. Маркс о сущности
и явлений экономических процес-
сов.

Коган, А. М.: Методология исследо-
вания кредита в «Капитале» К.
Маркса.

Семененко, В. В.: Экономическая
природа рабочей силы при социа-
лизме в свете учения К. Маркса.

Ефимова, В. В.: Особенности дей-
ствия закона тенденции нормы
прибыли к понижению в условиях
современного капитализма.

Кошелев, А. Я.: Из опыта работы
спецсеминара по «Капиталу» К.
Маркса на экономическом факу-
льтете МГУ.

23(3) Май-июнь 1968

К 150-летию К. Маркса

Полянский, Ф. Я.: К. Маркс и рево-
люционный переворот в экономи-
ческой науке.

Акопов, Р. Я.: «Капитал» К. Маркса
об экономике коммунистического
общества.

Куликов, В.: К. Маркс о месте фо-
рмального подчинения труда ка-
питалу в становлении капиталис-
тического способа производства.

23(4) Июль-авг. 1968

Коган, А. М.: «Капитал» К. Маркса
и методология исследования нае-
много труда.

Вестник Статистики

1967(9)

Малый, И.: Статистика в «Капитале»
Карла Маркса (К столетию выхо-
да в свет первого тома «Капита-
ла»).

1968(5)

Великий основоположник научного
коммунизма.

Вопросы Истории

43(2) Февр. 1968

К 150-летию со дня рождения К.
Маркса

Богуш, Е. Ю.; Воробьева, А. К.:
Второе издание Сочинений К.
Маркса и Ф. Энгельса.

Колпинский, Н. Ю.: Борьба Карла
Маркса с «левым» оппортунизмом.

43(3) Март 1968

К 150-летию со дня рождения К.
Маркса

Левнова, С. З.: Борьба К. Маркса и
Ф. Энгельса за создание партии
рабочего класса в 40-х годах XIX
века.

Кухарчук, Д. В.: Критика Карлом
Марксом грубо-уравнительного
коммунизма.

43(4) Апр. 1968

К 150-летию со дня рождения К.
Маркса

Кукин, Д. М.: В. И. Ленин—великий
продолжатель дела Карла Маркса.
Выгодский, В. С.: Обоснование ма-

териалистического понимания истории К. Марксом.

Кунина, В. Э.: К истории борьбы К. Маркса против реформизма.

Воробьева, А. К.: К. Маркс и Ф. Энгельс о революционном движении и революционерах России.

Соловьева, К. В.: К. Маркс и Русская секция I Интернационала.

Аграновский, И. И.: Прочитаны впервые (О создании архива К. Маркса в СССР, о расшифровке, переводе и публикации его рукописей).

Селезнев, К. Л.: Карл Маркс в поэзии.

Орлеанский, А. И.: Первые отклики на первое русское издание «Капитала».

Ефремов, И.: Молодой Маркс как редактор.

43(5) Май 1968

Селезнев, К. Л.: Карл Маркс в поэзии (Заметки историка).

Бах, И. А.: К характеристике К. Маркса как руководителя международного пролетариата.

Вопросы Истории КПСС*

1968(1)

Миськевич, Л. Р.: Бессилие буржуазных критиков «Капитала» К. Маркса.

1968(4)

Краткий очерк жизни и деятельности Карла Маркса.

1968(5)

Кузьминов, И. И.: Положение рабочего класса при капитализме в свете экономического учения К. Маркса.

Малыш, А. И.: Маркс и его метод.

Вопросы Философии

21(9) Сент. 1967

К столетию «Капитала» К. Маркса. К. Маркс. Форма стоимости (Приложение к первой главе первого издания I тома «Капитала»).

Ильенков, Э. В.: Проблема абстрактного и конкретного.

Выгодский, В. С.: Экономическое обоснование теории научного коммунизма в «Капитале» К. Маркса.

Коган, А. М.: О неизученном плане исследований К. Маркса.

Сахарова, Т. А.: Французские марксисты о «Капитале» К. Маркса.

22(5) Май 1968

К 150-летию со дня рождения К. Маркса

Кедров, Б. М.: Маркс и единство наук—естественных и гуманитарных.

Соловьев, Э. Ю.: Личность и ситуация в социально-политическом анализе Маркса.

Ойзерман, Т. И.: Маркс, Гегель и современное буржуазное сознание.

Кешелева, В. В.: Важный этап в формировании философии марксизма (К. Маркс. К критике гегелевской философии права. 1843

год).

Коган, А. М.: «Капитал» Маркса и некоторые проблемы современных социальнo-экономических исследований.

Маслин, А. Н.; Филонов, Г. Н.: Философский конгресс в Берлине, посвященный 150-летию со дня рождения Карла Маркса.

Безчеревных, Э. В.: Книга о молодом Марксе. Н. И. Лапин. Молодой Каркс. Политиздат, М., 1968, 376 стр.

Черняк, Е. И.: Биографические материалы о великих мыслителях и ревапоционерях.

22(6) Июнь 1968

Румянцев, А. М.; Осипов, Г. В.: Марксистская социология и конкретные социальные исследования.

Мамардашвили, М. К.: Анализ сознания в работах Маркса.

Фридлендер, Г. М.: К. Маркс и проблема художественной ценности.

Ардабьев, А. И.; Иконицкий, Ю. В.: Марксизм и современная буржуазная идеология.

Вопросы Экономики

20(7) Июль 1967

К столетию выхода в свет I тома «Капитала» К. Маркса

Афанасьев, В.: «Капитал» К. Маркса и кризис буржуазной политической экономии.

20(8) Авг. 1967

К столетию выхода в свет I тома «Капитала» К. Маркса

Дунаева, В.: К вопросу о математическом методе в «Капитале» К. Маркса.

20(9) Сент. 1967

К столетию выхода в свет I тома «Капитала» К. Маркса

Малыш, А.: Главный труд Маркса.

Корочкин, В.: Первые отклики на «Капитал» К. Маркса в России.

21(4) Апр. 1968

К 150-летию со дня рождения К. Маркса.

Выгодский, В.: Стиль научной работы К. Маркса.

Дворкин, И.: Научно-техническая революция и «Капитал» К. Маркса.

21(5) Май 1968

К 150-летию со дня рождения К. Маркса

Афанасьев, В.: Отправной пункт политической экономии.

Тушунов, А.: К. Маркс об экономическом развитии России.

21(8) Авг. 1968

Орешкин, В.: Марксизм-ленинизм — наука о строительстве коммунизма.

Деньги и Кредит

26(5) Май 1968

Брегель, Э.: Революционный переворот в теории денег и кредита

(К 150-летию со дня рождения К. Маркса).

**Известия Академии Наук
Казахской ССР. Серия
Общественная**

6(2) Март-апр. 1968

Жангельдин, Т.; Бурабаев, М.: Триумф всепобеждающего марксистского учения (К 150-летию со дня рождения К. Маркса).

История СССР

13(3) Май-июнь 1968

К. 150-летию со дня рождения К. Маркса

Конюшая, Р. П.: К. Маркс и падение крепостного права в России.

Тартаковский, Б. Г.: Основоположники марксизма о перспективах русской революции (по страницам сборника «К. Маркс, Ф. Энгельс и революционная Россия»).

Полевой, Ю. З.: Маркс и Россия. (Обзор русской печати начала XX века).

Самедов, В. Ю.: К истории распространения марксизма в России. (О сборниках «Социалистическое знание»).

Коммунист

1967(12) Авг. 1967

Леонтьев, Л.: «Капитал» Маркса и наша эпоха.

Рейнхольд, О.: Всемирно-историческое значение «Капитала».

1968(4) Март 1968

К 150-летию со дня рождения К. Маркса

Конюшая, Р.: Карл Маркс и русские революционеры.

1968(6) Апр. 1968

Основоположник научного коммунизма. Тезисы к 150-летию со дня рождения Карла Маркса.

Вечно живое революционное учение.

Чесноков, Д.: Актуальные проблемы исторического материализма.

Пашков, А.: Маркс и политическая экономия социализма.

Знамя борьбы за победу коммунизма.

Смирнов, А.: Маркс о национально-освободительном движении.

Лифшиц, М.: Маркс и трагедия буржуазной культуры.

Кочеткова, М.: Русские книги в библиотеке Карла Маркса.

1968(7) Май 1968

150 лет со дня рождения Карла Маркса

Суслов, М. А.: Карл Маркс—гениальный учитель и вождь рабочего класса: Доклад товарища М. А. Суслова на торжественном заседании в Москве, посвященном 150-летию со дня рождения Карла Маркса.

Из рукописного наследия К. Маркса.

Шитов, Н.: К. Маркс и Ф. Энгельс о пролетарском интернационализме.

Ойзерман, Т.: Учение Маркса и борьба против современной буржуазной идеологии.

Ольсевич, Ю.: Марксистская экономическая теория и банкротство ее буржуазных толкователей.

1968(10) Июль 1968

Семенов, Н.: Марксистско-ленинская философия и вопросы естествознания. Научное творчество в свете марксистско-ленинской теории познания.

Мировая Экономика и Международные Отношения

1967(3) Март 1967

Васильчук, Ю.: «Капитал» К. Маркса и современная теория капиталистической прибыли и цен.

1967(12) Дек. 1967

100-летие «Капитала» К. Маркса (Научные конференции в Москве).

1968(5) Май 1968

Певзнер, Я.: И имя его и дело переживут века! (К столятию рождения К. Маркса).

Вевер, А.: К. Маркс и некоторые проблемы исторической роли рабочего класса.

Бечин, А.: К. Маркс о формах и структуре общественного продукта.

Народы Азии и Африки

1968(2) Март-апр. 1968

Гамаюнов, Л. С.: О выписках Карла

Маркса из работ по Востоку.

Новая и Новейшая История

1967(5) Септ.-окт. 1967

К 100-летию «Капитала» К. Маркса
Выгодский, В. С.: Экономическая теория Маркса и рабочий класс.

1968(3) Май-июнь 1968

150 лет со дня рождения Карла Маркса

Копюшая, Р. П.: Занятия Карла Маркса по изучению России в 70-х—начале 80-х годов.

Барвенко, Е. Н.: К. Маркс и Ф. Энгельс в борьбе за единство германского рабочего класса в 70-х годах XIX в.

1968(4) Июль-авг. 1968

150 лет со дня рождения Карла Маркса

Селезнев, К. Л.: Карл Маркс и рабочие массы (Истинный облик Маркса и его искадители).

Научно-справочный Бюллетень

Сектора Произведений

К. Маркса и Ф. Энгельса

Института Марксизма-Ленинизма

при ЦК КПСС

(16) 1967

Посвящается столетию «Капитала»
Выгодский, В. С.: Метод исследования Маркса и некоторые экономические проблемы современности.

Тартаковский, Б. Г.: Замечания К.

Маркса на книгу Ф. Д. Ньюенгейса "Карл Маркс. Капитал и труд".

Флеров, А. В.: Значение "Капитала" в определении взаимоотношений дизайна и прикладного искусства.
Орлеанский, А. И.: Об одном примечании Маркса.

Румянцева, Н. С.: Участие Ф. А. Зорге в распространении и популяризации "Капитала" Маркса в США.

Мосолов, В. Г.: К вопросу об авторстве одной рецензии на I том "Капитала".

Уроева, А. В.: Одна из талантливых популяризаций "Капитала" Маркса.

Казьмина, И. Г.: Попытка народника В. Воронцова решить проблему средней нормы прибыли на основе закона стоимости.

Бах, И. А.: К характеристике Маркса как руководителя Интернационала.

Тартаковский, Б. Г.: О некоторых забытых публичных выступлениях Энгельса.

Левиова, С. З.: Авторская работа научных сотрудников сектора произведений К. Маркса и Ф. Энгельса за последние годы.

Соколова, М. Н.: Современные зарубежные истории и социологи о Карле Марксе.

Хроника (февраль 1966—октябрь 1967 г.).

Общественные Науки в Узбекистане

12(6) Июнь 1968

Хроника научной жизни.

Кнопов, Б. И.: Научная сессия, посвященная 150-летию со дня рождения Карла Маркса.

Плановое Хозяйство

44(12) Дек. 1967

Реуэль, А.: Величайшее политико-экономическое произведение.

45(5) Май 1968

К 150-летию со дня рождения К. Маркса

Реуэль, А.: «Капитал» К. Маркса в России.

Политическое Самообразование

1967(9) Сент. 1967

Саралиева, З.: «Капитал» К. Маркса в России.

1968(3) Март 1968

К 150-летию со дня рождения Карла Маркса

Кузьминов, И.: К. Маркс и экономическая теория социализма.

Тематики теоретических конференций.

Краткая библиография о К. Марксе.

1968(4) Апр. 1968

К 150-летию со дня рождения Каркса

Иванов, Н.: Гениальный учитель и

вождь мирового пролетариата.

Смирнова, В.: Карл Маркс и революционная Россия.

1968(5) Май 1968

К 150-летию со дня рождения Карла Маркса

Баграмов, Э.: Карл Маркс и пролетарский интернационализм.

Микешин, Н.: Буржуазные «критики» Маркса и общественная жизнь.

Сапрыков В.: По залам Музея К. Маркса и Ф. Энгельса.

1968(6) Июнь 1968

Васильчук, Ю.: Учение К. Маркса о капиталистическом производстве и современность.

Правда

(245) 2 сент. 1967

Козлов, Г.: Жизненная сила марксизма. К столетию «Капитала».

(250) 7 сент. 1967

Великий подвиг. Научная конференция, посвященная 100-летию со дня выхода в свет первого тома «Капитала».

«Капитал» в России.

(257) 14 сент. 1967

Великая книга. Сто лет назад вышел в свет I том «Капитала».

Вознесенский, Л.: Дело Маркса переживет века.

(125) 4 мая 1968

Триумф идей Маркса.

(126) 5 мая 1968

Имя его и дело переживут века.

В юбилейные дни.

Монгольские переводы Карла Маркса.

Францев, Ю.: Маркс и современность.

Бесценное богатство. Издание трудов К. Маркса и Ф. Энгельса в СССР.

Купревич, В.: Образец ученого.

Тимченко, А.: Вечно живой огонь.

Сенекина, О.: Он изучал математику.

Волков, Б.: Источник знаний.

Смирнов, А.: Русская история идет хорошо...

Баранов, М.: Диалектика будней.

Хагер, К.: Могучее идейное оружие.

Есперсен, К.: «Нельзя быть настоящим борцом за социализм, не изучая Маркса.

Орестов, О.: Великая дружба.

(127) 6 мая 1968

Суслов, М. А.: Идеи, преобразующие мир. Торжественное заседание в Москве, посвященное 150-летию со дня рождения Карла Маркса. Карл Маркс—гениальный учитель и вождь рабочего класса. Доклад товарища М. А. Суслова.

Советская Торговля

41 (5) Май 1968

К 150-летию со дня рождения Карла Маркса

Саков, М.: Вечно живой, победоносный марксизм.

Советское Государство и**Право**

1968(5) Май 1968

Революционное учение Маркса о государстве и современность.

Гинцбург, Л. Я.: Проблемы трудового права в «Капитале» Маркса.

Киселев, Я. С.: Судебные речи Маркса и Энгельса.

Социалистический Труд

12(9) Сент. 1967

Кузнецов, А.: Сто лет „Капиталу“.

13(4) Апр. 1968

Акопов, Р.: «Капитал» К. Маркса и проблемы производительности труда при социализме.

Финансы СССР

42(6) Июнь 1968

Винокур, Р.: Экономическая теория К. Маркса и вопросы финансов социализма.

Экономика Сельского Хозяйства

43(3) Март 1968

Акопов, Р.: Проблемы социалистического хозяйства и «Капитал» Маркса.

Экономическая Газета

(36) Сент. 1967

Главный труд Карла Маркса.

«Капитал» издавался на 43 языках мира.

Издания «Капитала» в СССР.

(37) Сент. 1967

Федосеев, П. Н.: «Капитал» К. Маркса и строительство коммунистического общества в СССР.

(38) Сент. 1967

Румянцев, А. М.: «Капитал» и экономические проблемы социализма.

(39) Сент. 1967

Пашков, А.: «Капитал» и развитие политической экономии социализма.

(40) Окт. 1967

Кузьминов, И.: «Капитал» и экономическая теория социализма.

(42) Окт. 1967

Козлов, Г.: «Капитал» и развитие современного капитализма.

(18) Май 1968

К 150-летию со дня рождения К. Маркса

Из рукописного наследия К. Маркса. Материалы Института марксизма-ленинизма при ЦК КПСС.

Вечно живое учение.

Сокровищница марксистских идей. К знаменательной дате.

(19) Май 1968

150 лет со дня рождения Карла Маркса.

Сулов, М. А.: Карл Маркс—гениальный учитель и вождь рабочего

класса. Доклад товарища М. А. Суслова на торжественном заседании в Москве, посвященном 150-летию со дня рождения Карла Маркса.

Экономические Науки

10(8) Авг. 1967

Сто лет со дня выхода в свет I тома «Капитала» Карла Маркса
Акопов, Р.: Идеи «Капитала» и свершения Октября.

Замятин, В.: Великий научный подвиг Маркса.

Черномордик, Д.: Вечно живая революционная теория.

Мансилья, А.: Методология «Капитала» и современность.

Соллертинская, Е.: Жизненность марксовой теории стоимости.

Абалкин, Л.: Проблемы мирового хозяйства в «Капитале».

Коган, А.: О творческом применении одного из положений «Капитала».

Выгодский, В.; Миськевич, Л.: Из предыстории I тома «Капитала».

Жукова, А.: Перевод первого тома «Капитала» в России.

Шени, А.: Праволейбористские критики Маркса.

Уроева, А.: Литература «О Капитале» в СССР (1957—1967 гг.).

Иванов, Н.: Бесценные свидетельства рождения «Капитала».

Романова, Л.: Межвузовская научная конференция о «Капитале».

11(4) Апр. 1968

К 150-летию со дня рождения Карла Маркса

Черковец, В.: «Капитал» К. Маркса и политическая экономия социализма.

Абалкин, Л.: Проблемы экономической политики в свете марксовой методологии.

Еремин, А.: «Манифест коммунистической партии» и некоторые вопросы экономической теории.

Мотылев, В.: Марксистско-ленинское учение о мировом капиталистическом хозяйстве: система категорий.

Замятин, В.: Произведения К. Маркса в России.

Баковецкий, О.; Новикова, Г.: Книжки к юбилейной дате.

11(5) Май 1968

Сто пятидесять лет со дня рождения Карла Маркса

Вревский, А.: Триумф творческого марксизма.

Выгодский, В.; Миськевич, Л.: Создание Марксом политической экономии рабочего класса.

Борисов, Е.: К. Маркс о месте и роли производительности труда в социально-экономическом прогрессе.

Коган, А.: Проблема различения производительного и непроизводительного труда в «Капитале» К. Маркса.

Камаев, В.: Техническая революция

как форма развития производительных сил.

Бобков, К.; Папков, В.: К. Маркс о становлении социализма.

Раскин, Б.: Основы социалистического преобразования сельского

хозяйства.

Ольсевич, Ю.: Критика К. Марксом теории международного обмена Д. Рикардо.

Кругликова, Е.: Новые издания к юбилею К. Маркса.